

「安全安心社会の為の Safety Service Engineering」(SSE 研究会)

社団法人日本機械学会産業・化学機械と安全部門第2回 SSE 研究会/議事録

日時： 2010年5月11日(火) 13:30 - 16:00

場所： 東京都港区(財)仏教伝道協会、4階「光」の間

出席者： 13名

議時：

1. SSE 研究会第1回を振り返って (15分)

SSE 研究会主査・長岡技術科学大学名誉教授

田中紘一 (以下敬称略)

SSE 研究会幹事・NPO 安全工学研究所

加部隆史

・第1回研究会の内容確認：加部より SSE 概念の説明、下村先生よりサービス工学の概要説明、岡村よりH社の事例発表でライフサイクルに置ける設備の最適化により結果として、安全をやりコストダウンが図れた内容。

・サービス工学関連の資料として「感性工学とは？」<資料 No.4>を配布。

・安全工学シンポジウム 2010 及び JSME/ICM&S 部門発表会 2010 で SSE が OS となった。

2. 話題提供：日本型設計環境の構築を目指す設計研究会活動 (30分)

(株)東芝研究開発センター機械・システムラボラトリー研究主幹

日本機械学会設計工学・システム部門設計研究会主査 大富浩一

設計手法の 16 分類、設計フローとしての概念設計 - 機能設計-レイアウト設計 - 構造設計、顧客満足を得る為の delight 設計 - better 設計・must 設計等が説明された。<資料 No.5 >

3. 事例研究 2. (B 社) : 産業機械の LCA と変更管理—タイヤ製造 B 社の例から (30分)

Safety Craft 代表 水野恒夫

機械のライフサイクルとリスクアセスメントの位置づけを基に、システム変更時の変更管理に伴うリスク及びその対処の重要性が説明された。 <資料 No.6>

関連資料として、事務局より Configuration Management の説明が掲載されている松本俊次氏の「リスクベースド・アプローチによる機械安全の現状と今後の課題」が参考資料として配布された。 <資料 No.7>

4. 質疑応答

双方の発表につき、活発な質疑応答が行われた。

5. その他 今後の予定等

会議室確保の為、以下の日程が確定した。

6月10日(事例発表 T 社予定)、7月9日(事例発表 S 社予定)、8月25日(事例発表・認証会社予定)、9月28日。

(記録：加部隆史)